

2022
6

とやま



5月28日(土) 午後1時30分
於：富山市体育文化センター

第57回通常総代会 開催

新保小学校
学校田 田植え



太田小学校
学校田 田植え



目次

- ・第57回通常総代会 開会挨拶
通常総代会付議議案 …………… 2
- ・新役員紹介 …………… 3
- ・総代会事前説明会 質問&回答
…………… 4～5
- ・新組合長挨拶、前組合長挨拶
…………… 6
- ・太田・新保小学校学校田 田植え
トータルサポート室 …………… 7

7・8月 税務相談日 (本店2階)

7/11(月)、7/25(月)、8/10(水)、8/25(木)
各 PM1:00～PM3:00

第57回 通常総代会開催

第57回通常総代会が、5月28日(土)午後1時30分から富山市体育文化センターにおいて総代定数500名のうち本人出席96名、議決権行使書333名、計429名の出席にて開催されました。議長に堀川地区総代 浅野俊昭氏を選任後、議事に入り付議案を慎重に審議いただきました。

第1号議案から第10号議案まで賛成多数で可決・承認され、午後3時56分に終了いたしました。

本年の通常総代会は昨年度に引き続き「コロナ禍」の中での開催となりましたが、ご出席いただきました総代各位には、何かとご多忙の折、ご出席を賜り誠にありがとうございました。また、多くの書面による議決権行使をいただいた総代各位にも、心より感謝申し上げます。

併せて、平素は、農協事業全般にわたり格別のご理解とご協力を賜っております。改めてお礼を申し上げます。

おかげをもちまして、本日、ここに第57回通常総代会を開催する運びとなり、昨年度(第56年度)の業務報告ならびに今年度(第57年度)の事業計画等の重要議案の多くを上げることができ、重ねて厚くお礼申し上げます。

令和2年度以降「コロナ禍」に見舞われ続け、農業祭を始めとする各種イベントの縮小・中止が相次ぐ中、事業の改善と経費削減に取り組んだ結果、経常利益は、当該事業計画から4,193千円を上回る117,505千円を計上しました。これは、平成27年度以来の1億円を上回る結果であります。また財務面では、自己資本比率19.08%と1つ前年を上回る健全値を確保することができました。このことは、組合員の皆様の変わらぬご支援の賜物であると深く感謝申し上げます。

さて、農業・農協をめぐる情勢につきましては、「コロナ禍」の影響等によって国内外の消費が大きく落ち込む中、飲食店等の営業自粛による米消費の減少が続いております。更に肥料の原料価格が世界情勢の影響により今後も上昇傾向にあり、農業生産にかかる「コスト」の増大が危惧され、米の消費減少と相まって、農家にとって大変厳しい状況が続く恐れがあります。このことから、当組合としても僅かではありますが、農家支援を目的に「事業分量配当金」を上程させていただきます。

一方、国では持続可能な農林水産業の実現に向けた中長期的な政策方針として、「みどりの食料システム戦略」を策定し、生産力の向上と持続性の両立をイノベーションで実現を目指す方針を打ち出しました。今後はJ-Aグループにおいても、各具体案に対し

役割を果たしていく所存でございます。

当組合においては、令和4年4月より「トータルサポート室」を設置し、まずは組合員の皆様の信用・共済・購買・営農に対するあらゆる「悩みや不安」及び、農協に対するご意見といったものを職員が伺いし、今後の管内農業の発展及び組合員の皆様の生活に寄り添えるように役立ててまいります。

また、今後予想される農業者数の減少に対応するため、当農協の子会社である「Jエイエー」と「ヤマサビエ」の充実・強化を引き続き図っており、今後も計画的な増員及び機械施設の整備を進めたいと考えています。また、農業用ドローン等をより活用するため、ドローン操縦者の増員を行ってまいります。

加えて、平成29年にオープンしました直売所「まんなか市場」は、お陰様で年々売り上げも伸び、昨年6月には増築オープンし大変好評を得ております。引き続き直売所利用者の増加を目指してまいります。

さらに、当組合は令和4年度からの中期3カ年計画を策定し、「持続可能な食料・農業基盤の確立」、「持続可能な組織・事業基盤の確立と地域の活性化」、「不断の自己改革の実践を支える経営基盤の強化」、「良食・良農・良地域」に「J-A」にかかる理解醸成に向けた取り組みの強化」を打ち出しました。次世代に向けた地域農業を確立するため、不断の自己改革を推し進め、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」に向け取り組みとともに「地域に根差した協同組合」として協同の力による地域の活性化に取り組みます。

書面による議決権行使書の提出に伴い頂戴しました「質問・ご意見」また、本日はいただきましたご意見等については、農協協定より等を通じて誠心誠意回答させていただきます。皆様方からお寄せいただきました貴重なご意見・励ましに感謝申し上げます。

総代各位におかれましては、今まで以上に力強いご支援とご指導を賜りますようお願い申し上げますと共に、今後益々のご繁栄とご健勝、ご多幸をご祈念申し上げ、挨拶とさせていただきます。

第57回 通常総代会付議議案

第1号議案

△報告事項1▽
第56年度事業報告及び剰余金処分案承認の件
第56年度貸借対照表、損益計算書、注記表及び附属明細書の件
第56年度部門別損益計算書の件

第2号議案

△報告事項2▽
「J-Aバンク基本方針」の変更について
定款一部変更の件
付帯決議

第3号議案

行政庁の指示により、字句の修正を要するときは、理事会においてこれを修正する。
第57年度事業計画設定の件
但し、経済情勢の変化などにより事業計画の内容を一部修正する必要があるときは、これを理事会に一任する。

第4号議案

中期経営3ヶ年計画設定の件
第57年度賦課金の額、賦課方法、徴収時期及び徴収方法決定の件

第5号議案

1. 賦課金の総額 2,507,045円
2. 賦課方法
令和4年6月末現在において賦課するものとし、その賦課基準は次による。

第6号議案

(1) 組合員割 200円(1人当り)
(2) 面積割 100円(10a当り)
令和4年10月31日までに全額徴収する。
徴収の最終期日までに納入されないときは、その期日をもってこの組合の貯金口座から振替決済の方法による。

第7号議案

第57年度における理事の報酬に関する件
第57年度における理事の報酬は、昨年度の支給実績、経済情勢の変化等を考慮して総額20,600千円以内とし、その範囲内における各理事の報酬額並びに支給方法などは理事会に一任する。

第8号議案

第57年度における監事の報酬に関する件
第57年度における監事の報酬は、昨年度の支給実績、経済情勢の変化等を考慮して総額5,400千円以内とし、その範囲内における各監事の報酬額並びに支給方法などは監事の協議に一任する。

第9号議案

理事の退職慰労金贈呈の件
理事の退職慰労金は、総額12,507千円以内とし、理事の贈呈額、贈呈方法などは役員退職慰労金規程の定めることによる。

第10号議案

監事の退職慰労金贈呈の件
監事の退職慰労金は、総額1,900千円以内とし、監事の贈呈額、贈呈方法などは役員退職慰労金規程の定めることによる。

新 役員決定

任期満了による当農協役員選任規程に基づき役員推薦委員会にて理事10名、監事3名を含め計13名の役員が推薦され、5月28日（土）に開催された第57回通常総代会において投票の結果、全理事・監事が信任されました。

なお、総代会終了後に開催された組織役員会にて代表理事組合長に高野諭氏、副組合長理事に松田宗和氏、常務理事に村井剛氏、及び北野洋子氏、学経常勤理事に中野雄一郎氏、代表・常勤監事に平井隆氏が就任致しました。

理 事

太田



代表理事組合長
高野 諭

堀川



副組合長理事
松田 宗和

蛭川



常務理事
村井 剛

蛭川



常務理事
北野 洋子

山室



理事
中川 伸一

熊野



理事
山峯 正明

月岡



理事
竹島 克朗

新保



理事
大平 真也

月岡



理事
中島 藤代

学経



理事統括事業本部長
中野雄一郎

監 事

員外



代表・常勤監事
平井 隆

太田



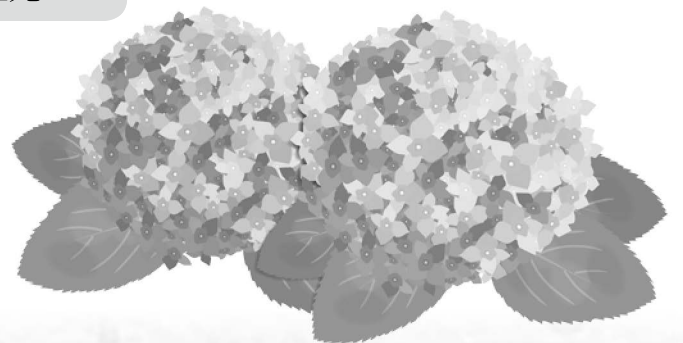
監事
中川 隆

堀川



監事
森川 重光

今後ともより一層の
ご指導とご協力を
お願い申し上げます。



第57回通常総代会 事前説明会 及び事前提出における「質問・意見・要望」について

【事前説明会 出席総数：49 / 491 出席率：10.0 %】

令和4年5月23日（月）に第57回通常総代会 事前説明会が各支店にて開催されました。総代会招集数491名の内、49名の総代の方々に出席賜りました。

13名の総代（南支店6名、中央支店7名）より事前説明会で質問・意見・要望をいただきましたので、一部をご紹介致します。なお、多くの励ましをいただき感謝申し上げます。

※文中（P00）と記載があるのは「通常総代会資料」における掲載ページです。



経営

Q

担い手不足の中で「水田フル活用による収入増加」の具体的な方策（P84）と、(有)ジェイエーとやまサービスの事業（P71）にて受託面積を増やすことでの水田フル活用についてご意見をいただきたい。

A

転作による生産調整が進む中、不作付地の増大が懸念されることから、政府備蓄米・加工用米・飼料用米の取り組みを中心とする水田フル活用を推進しております。併せて契約栽培米「ゆうだいでい21」の作付拡大により農家所得の向上を目指す方策を展開中です。(有)ジェイエーとやまサービスの受託体制も併せて強化していく方針であります。農業者協議会等関連組織との連携が、必要不可欠であります。(有)ジェイエーとやまサービスの受託面積増大は、必ずしも農家所得の向上に繋がりません。あくまでも組合員をはじめとする生産者の主体性が所得向上の源泉でありますので、(有)ジェイエーとやまサービスは、相談機能を含む支援を重視しています。総じて当組合は、「JA富山市農業振興計画（令和3年度～令和5年度）」に基づき地域農業を守る受託体制の構築に取り組んでまいります。

Q

第56年度の剰余金処分案（P41）についてですが、第55年度の剰余金処分における任意積立金は、80百万円となっています。第56年度の任意積立金は、40百万円と半減しています。任意積立金を抑えて事業分量配当金21.7百万円を捻出する意図があるのでしょうか。また、自己資本造成計画にもとづく利益処分なのでしょくか。

A

第56年度の任意積立金（リスク管理積立金）40百万円については、昨年の通常総代会で承認された予定剰余金処分計画どおりの積立金額となっており、事業分量配当金を実施するために減額するものではありません。

また、資料P42に任意積立金の内訳を掲載していますが、リスク管理積立金以外は、積立目標額に到達している状況です。事業分量配当金を実施するのは、事業利益・経常利益いずれも計画以上の増益となったことと法人税の取扱いについて検討した結果、利用高に応じて分量配当を提案するものです。金額につきましても当組合の現状の中で、できる範囲の金額を計画させていただいています。

昨年の通常総代会にて承認いただいた自己資本造成計画では、利益準備金の計画額12百万円に対し19百万円、任意積立金の計画額40百万円に対し同額でありますので、計画を達成することができています。



Q

自己改革工程表の重点目標と成果指標・目標値（P84）において、令和4年度目標からの記載となっておりますが、先ず令和3年度までの取組み実績を示していただきたい。また、第57年度事業計画基本方針及び中期経営3ヶ年計画では基本方針・目標「持続可能な食料・農業基盤の確立」にて「担い手経営体の育成・支援強化」（P54・P74）をうたっていることから自己改革工程表に「担い手経営体の育成・支援強化」を重点目標とし、目標値を設定すべきだと思いますが如何でしょうか。

A

自己改革工程表においては、行政機関にも提出することになり、取組み成果については、定期的の開示していくこととなります。なお、この度の自己改革工程表は、新たに令和4年度をスタートとする重点目標として設定していますので、これまでの取組み実績を表していません。今後、皆様に各種の会議体等でご報告してまいります。併せて、情勢変化により今後、重点目標の見直し等も必要になると思われます。

また、ご指摘のとおり「担い手経営体の育成・支援強化」は、重要な施策であります。但し、当組合としては、生産組合員減少に歯止めをかけることが、より重要であると考え、担い手育成のみならず親元就農者を含め広く就農者支援することが大切であります。就農者支援としては、行政及び各地区農業者協議会等と連携していく必要があり、新規就農者支援についても考えていかなければなりません。認定農業者は、現在、約80経営体ですが、この3年で数値を増やすことも大事ですが、どのように取り組むかの内容が大事であると思われます。全体像として担い手育成は、重要ですが、自己改革工程表では、記載の4項目を重点項目といたくご理解願います。今後、皆様のご意見を反映して重点目標の追加も検討してまいります。

営農

Q

契約栽培米「ゆうだい21」の生産拡大を重点項目としていますが、当該品種については、丈が長く、硬い、倒伏しやすい等、生産に苦勞します。価格面では魅力がありますが、生産技術の向上をお願いします。

A

確かに刈取りに苦勞を要したのは、事実であります。しかし、業務用米は、一般的に低価格でありましたが、「ゆうだい21」は価格面で「コシヒカリ」より優位でありますし、複数年契約米である安定性も考慮した結果、当組合としては、拡大に向け推進しています。

なお、技術情報の普及に努めてまいりますので、作付けのご検討をお願い致します。

Q

高収益作物導入による売上増加として「青ネギ」の生産を計画していますが、フルシーズンの生産を計画しているのでしょうか。併せて、出荷時、皮剥き等の手間がかかるのでしょうか。生産労力に問題なければ、作付けしたいと思います。

また、ジャガイモ生産への取組みは、現状、どうなっているのでしょうか。

A

まず、ジャガイモにおいては、平成22年より1億円産地づくりとして取組み、現在も生産しています。直近の作付面積は、647aであり、販売金額は、11,690千円にまで伸びました。令和4年産の種芋が、確保しにくいと懸念されますが、今後も継続して生産に取り組んでまいります。

青ネギについては、約1aで200kg程度の収穫が期待でき、1kg当り500円での販売価格となります。コンテナ出荷となりますので、袋詰め等の作業は不要です。1ヶ月半程度の生産工程であり、軽作業である点が魅力です。作業機械は、当組合とJA全農とやまが連携し、支援します。是非、挑戦していただきたいと考えています。

新組合長ごあらわし



高野 諭

時下、益々ご清祥のこととお慶び申し上げます。

私ごと

令和4年5月28日開催の第57回通常総代会終了後の組織役員会におきまして、代表理事組合長に選任され就任いたしました。浅学菲才ではありますが、全力をあげて職務に邁進する所存でありますので、皆様方のご指導、ご支援を心からお願い申し上げます。

また、当農協において、今回の役員体制で初の「女性の常勤理事」の選任を行い、今までよりも多様な意見を踏まえた意思決定が期待される点でもあります。

さて、当農協管内におきましても、農業者の高齢化が進む中で、担い手農家・組合員の世代交代が迫り、農地の維持・発展と地域農業振興のためには、次世代担い手への円滑な事業継承や、新規就農者の育成に向けた自己改革の取り組みが欠かせない状況となっております。当農協においては事業承継や相続など、ますます複雑な案件が今後増えることを想定し、窓口をワンストップで対応できるようにするため、令和4年4月に「トータルサポート室」を新設致しました。さらに組合員への戸別訪問や集落座談会による直接対話を通じ皆様のニーズの把握を進め、より多くのご意見を取り入れた自己改革に取り組んでまいります。

また、当農協役員におきましても、自ら出向く姿勢を鮮明にし、地域や組合員の皆様と積極的に向き合う場を設ける所存であります。

こうして、役員一人一人が組合員の皆様に向き合い、「農業者の所得増大」「農業生産の拡大」「地域の活性化」のために全力を尽くし、組合員をはじめ地域の皆様に必要とされる組織づくり、地域の「農業と暮らし」に無くてはならない組織を目指し、これからも「不断の自己改革」に取り組んでまいります。

今後とも、より一層のご指導とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

前組合長ごあらわし



中川 俊昭

この度、5月28日開催の第57回通常総代会をもちまして、富山市農業協同組合代表理事組合長を退任致しました。

在任中大過なく職務を全うできましたのも組合員の皆様の温かいご指導ご鞭撻のおかげと厚く感謝申し上げます。

私は、年号が「令和」と変わった令和元年5月より代表理事組合長に就任し、多数の経営上の諸課題を、皆様に支えられながら取り組むことができ、無事退任の日を迎えることができました。なかでも、令和3年6月に、当組合直売所「まんなか市場」の増床リニューアルオープンの実施、令和4年4月の「トータルサポート室」の新設等、組合員の皆様との対話や地域の活性化に重点を置いた自己改革を実践してまいりました。

また、令和2年11月には、参加している各JAとの合意形成が図れないことから、富山市内4JA合併研究会での研究活動を中止しました。今後は当農協を持続可能な組織とするための事業基盤強化・確立することが喫緊の課題であります。

そして、在任期間中の大半は、コロナ禍により組合員の皆様と接する場面が減少し、総代会や農業祭といった各種行事やイベントが実施できなかったことは大変残念であり心残りでございます。農協は地域に根差した土着組織であり、今後も組合員の皆様との対話を通じて、自己改革を進めていかなければなりません。

組合員の皆様には、新役員体制移行後も従前同様、変わらぬご指導ご厚誼を賜りますようお願い申し上げますと共に、皆様のご健勝とご多幸をお祈り申し上げます。ご挨拶とさせていただきます。

学校田 田植え体験



太田小学校

令和4年5月17日に太田小学校5年生約30名と、太田校下自治振興会、JA富山市青年部太田支部が協力し、新大正もちの苗を植えました。

児童の皆さんは、約10アールの田んぼに「ころがし」で目印を付けた後、裸足で田んぼへ入り、楽しそうに苗を植えていました。

田植え終了後に、「自動操縦のドローン」を飛ばし、農薬などを散布する様子を見学し、歓声があがっていました。

今後、児童の手により水管理をすることで、稲作における水の大切さを学びながら、収穫までの過程を観察し、9月に稲刈りを行う予定です。

新保小学校



令和4年5月30日に新保小学校5年生約40名と、JA富山市青年部新保支部が協力し、コシヒカリの苗を植えました。

児童の皆さんは、総合的な学習の時間に「水」をテーマに学習されています。その一環として農業、特に田んぼと水の関わり方の体験として田植え体験を実践しました。

最初は、恐る恐る田んぼに入っていました。慣れてくると「楽しい!!」とドンドン植え進めていました。

田植え終了後の、「GPS付田植え機」の試乗や「自動操縦のドローン」の飛行に興味津々の皆さんでした。

新規採用職員紹介

4月からJA富山市に仲間入りした新規採用職員にインタビュー♪
今後、農協の新しい顔として活躍してまいりますので
皆さまご指導・ご鞭撻のほどよろしくお願い申し上げます。

中央支店 金融渉外係
宮田 健吾



趣味

車でドライブ♪歴史が好きで旅先では美術館や博物館へよく足を運びます。学生時代は剣道を習っていました。

意気込み

組合員の皆さまに寄り添い、ご相談やお悩みごとなどニーズにあった対応ができるよう頑張ります!

理事会だより

第1回定例理事会次第

と き 令和4年3月30日(木)
午後1時30分
ところ 本店会議室

協議事項

- 1) 定款等の一部変更(案)について
- 2) 第57回通常総代会及び事前説明会開催について
- 3) 第57回通常総代会付議議案(案)について
- 4) 第57年度事業計画設定(案)について
- 5) 中期経営3ヶ年計画(案)について
- 6) (有)ジェイエーとやまサービス決算及び事業計画(案)について
- 7) 第57年度における同一人に対する信用供与の最高限度額決定(案)について
- 8) 第57年度における余裕金の運用(案)について
- 9) J A経営戦略シートおよび農業融資新規実行額の指標設定(案)について
- 10) ローン融資要項(統一版)の一部改正(案)について
- 11) 農業資金融資要項(統一版)の一部改正(案)について
- 12) 第57年度借入金の最高限度額決定(案)について
- 13) 経済事業にかかる理事との契約(案)について
- 14) 内部統制システム基本方針の一部改正(案)について
- 15) 個人情報保護に関する規程等の一部変更について

- 16) 育児休業・育児短時間勤務等規程及び介護休業・介護短時間勤務等規程の一部変更(案)について
- 17) 特定事業者作成書面(リスク評価書)の改正について
- 18) 労働組合要求について
- 19) 職務代理者の順位変更(案)について
- 20) 役員候補者(学経理事・員外監事)の推薦について

第2回定例理事会次第

と き 令和4年4月28日(木)
午後1時30分
ところ 本店会議室

協議事項

- 1) 県常例検査指摘事項に対する改善報告書(案)について
- 2) 令和3年度決算(修正)案について
- 3) 自己資本比率(案)について
- 4) 出資口数の減少申込(案)について
- 5) 中期経営3ヶ年計画設定(案)について
- 6) 自己改革工程表設定(案)について
- 7) 第57回通常総代会の運営(案)について
- 8) 第57回通常総代会の議長及び開票立会人の選任(案)について
- 9) 会計監査人の報酬等(案)について
- 10) 令和4年産米出荷契約金の資金対応(案)について

職員人事異動

退職(令和四年三月三十一日付)

区分	氏名	旧任	新任
定年退職(再雇用)	高野 諭	統括事業本部長	営農経済部 課長(兼)課長代理
定年退職(再雇用)	宇波正樹	中央支店 (L A)係長	営農経済部 購買課 課長代理
依願退職	湯山泰輝	営農経済部 畜産係	営農経済部 購買課 課長代理
依願退職	中田美花	中央支店 共済窓口係	営農経済部 購買課 センター長

左記のとおり職員人事をおこないましたので
ご案内申し上げます。

職員人事(令和四年四月一日付)

区分	氏名	旧任	新任
新 任	中野雄一郎	金融共済部 課長	金融共済部 課長
新 任	田村 栄	企画総務部 課長	企画総務部 課長
新 任	柴原裕司	営農経済部 購買課 課長兼旅行センター長	営農経済部 購買課 課長
新 任	田近智久	企画総務部 部長	企画総務部 部長
新 任	中坪和枝	金融共済部 課長	金融共済部 課長
新 任	安守孝夫	金融共済部 課長	金融共済部 課長
新 任	森 誠	企画総務部 係長	企画総務部 係長
新 任	田村 静	金融共済部 課長代理	金融共済部 課長代理
新 任	野原和代	金融共済部 課長代理	金融共済部 課長代理
新 任	大橋真人	営農経済部 課長代理	営農経済部 課長代理
新 任	新田 誠	営農経済部 購買課 課長代理	営農経済部 購買課 課長代理
新 任	武川直樹	営農経済部 購買課 課長代理	営農経済部 購買課 課長代理
新 任	松井成宏	監査係長(監事付) 課長代理	監査係長(監事付) 課長代理

新規採用(令和四年四月一日付)

区分	氏名	旧任	新任
臨時職員(嘱託)	高野 諭	営農経済部 購買課	営農経済部 購買課
臨時職員(嘱託)	宇波正樹	中央支店 共済窓口係	中央支店 共済窓口係
臨時職員	高見裕子	農機係	農機係

職員登用(令和四年四月一日付)

区分	氏名	旧任	新任
勤務部署	田村信明	農機係	農機係

退職(令和四年四月三十日付)

区分	氏名	旧任	新任
依願退職	井川浩延	南支店 支店長代理	南支店 支店長代理
依願退職	砂原悠字樹	南支店 営農係	南支店 営農係



JAとやま 9654 R4・6月号

編集・発行 富山市農業協同組合

〒939 8153 富山市吉岡466-1
TEL(076)4269-1555 FAX(076)4269-1588
E-mail: info@ja-toyamashi.or.jp
ホームページ: http://www.ja-toyamashi.or.jp/